



各 位

2021年12月22日

会 社 名 株式会社ピーエイ
代 表 者 代表取締役社長兼COO 垣内康晴
(東証第二部・コード番号 4766)
問 合 せ 先 経営企画部長 阿部 良一
(TEL 03 - 6880 - 5050)

地域創生プロジェクトの深耕・加速化に向け、 株式会社パークホームズとの業務提携に関するお知らせ

各地で地域創生事業を手掛ける当社と日本最大級のトレーラーハウス専門会社である株式会社パークホームズ（本社：東京都中央区、代表取締役 池田昌弘）は、今後ますます増大し、規模が拡大する地域創生・活性化プロジェクトを協働して推進することを企図し、業務提携契約を締結したことを下記のとおりお知らせいたします。

記

1、業務提携について

ピーエイグループ（www.pa-co-ltd.co.jp）は、「地域に人を集め、地域に賑わいを創り、地域の人を元気にする」ことをミッションとし、主に地域の遊休資産を活用した地域創生事業を展開しています。京都駅至近でありながら人流が少なかった京都市下京区河原町の週末商店街「るてん商店街」と屋台村の「崇仁新町」（2020年6月をもって終了）、独立行政法人都市再生機構（UR 土地機構）と共同での地域まちづくり支援事業である東京都下東急目黒線西小山駅前の「Craft Village NISHIKOYAMA」、日本一の大河信濃川河口部、重要文化財「萬代橋」のたもとのテラスエリアを活用した新潟市の「万代テラス ハジマリヒロバ」を運営しています。



パークホームズは、商業施設、グランピング施設、飲食店、その他店舗や事務所などの法人利用、住居、別荘などの個人利用等、さまざまな用途、目的に応じたトレーラーハウスを自社で企画、製造、販売を一貫して行い（製品として特許取得済）、多くの導入実績を有しています。最近では、HUBHUB 日本橋人形町、吹上浜フィールドホテル、Glory island Okinawa Yabusachi、藤和那須 Factland など、トレーラーハウスを用いた案件を手がけています。



このたび、ピーエイグループとパークホームズが提携、協働することにより、ピーエイグループが推進する地域創生事業において、パークホームズのトレーラーハウスを積極的に活用し、事業化をよりスピーディーかつ低費用で行うことが可能となります。また、パークホームズのこれまでの実績、知見を活かし、個々の事業化案件にふさわしく、顧客満足度の高いトレーラーハウスの開発、導入を進めてまいります。

2、業務提携の狙い

新型コロナウイルスの感染拡大という「with コロナ」、「after コロナ」の時代のなか、すべての人々が新しいライフスタイルを模索し、すでに二拠点居住、ワーケーション、リゾベーションなどの生活様式が生まれ、衣食住すべてにおいて首都圏一極化の構造は変貌をとげています。それとともに、それぞれの地域において、スタイル、特性に合わせたコンセプト、レイアウトによる遊休資産の活用、再活性化により、訪れる方々、近隣にお住まいの方々、働く方々などすべての人々が生活を楽しむ場、賑わいの場を提供するニーズが生まれています。ピーエイグループとパークホームズは、この度の業務提携により、それぞれがこれまで培ってきた実績、経験、特性を融合、昇華し、より積極的にこのようなニーズ、関係者のご期待に応えていく所存です。

3、業務提携先の概要（2021年12月17日現在）

(1) 名称	株式会社パークホームズ	
(2) 所在地	東京都中央区京橋1-6-13 7階	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 池田昌弘	
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーラーハウスの製造・輸入・販売・修理・輸送。 ・一般建築・企画・設計・管理。 ・輸入建材・家具の販売・企画・設計・輸出入・修理。 ・自動車の販売・修理・買い取り。 	
(5) 資本金	1,000万	
(6) 設立年月日	2014年3月	
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	資本関係はありません。
	人的関係	人的関係はありません。
	取引関係	取引関係はありません。
	関連当事者への該当状況	関連当事者には該当ありません。

4、今後の見通し

本提携が当社の当期業績に与える影響は軽微であります。

以上

<問合せ先>

地域創生本部：高橋直樹

電話：03-5725-9680

mail：na-takahashi@pa-co-ltd.co.jp